

1 令和4年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

(1) 財政の動向

令和4年度の流山市一般会計歳入歳出当初予算総額は、730億1,000万円であり、令和3年度の711億7,000万円に比べ、18億4,000万円、約2.6%の増額となっている。

主な増額の要因としては、新型コロナウイルス感染症対策に関する経費、子育て世代の人口増加に伴う子育て施策に関連する経費や高齢者や障害者に関連する施策等の増加により、民生費は前年度比16億8,535万円、衛生費は9億9,233万8千円の増額となったことによるものである。

また、6月に行われた流山市議会第2回定例会において、国のコロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策による住民税非課税世帯や家計急変世帯に対する臨時特別給付金に関する経費や8月に行った専決処分として、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンの接種体制の準備を進めるための経費を新たに計上したほか、前年度からの繰越額を含めると、9月末の予算現額は781億7,440万5千円となっている。

なお、上期における予算現額を前年の9月末現在のものと比較すると、歳入では、市民税納税義務者の増加などに伴い市税は30億4,236万8千円増額、おおぐろの森中学校の建設完了などにより財源である地方債は、37億5,860万円の減額となっている。

また、歳出においては、上記のほか、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金に関する経費などにより、民生費が27億3,874万6千円増額しているものの、おおぐろの森中学校の建設完了などにより教育費が65億4,572万3千円の減額となり、前年9月末現在と比べて23億5,714万5千円の減額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。